

# 株主の皆様へ

## 第71期のご報告

2019年4月1日から2020年3月31日まで

### 目次

|                   |   |
|-------------------|---|
| 当社グループの第71期における業績 | 1 |
| セグメント別の概況と今後の取り組み | 2 |
| 財務諸表              | 3 |
| トピックス             | 4 |
| フジックスグループNetwork  | 5 |
| 会社の概要             | 6 |
| 株式の状況             | 6 |



おしゃれのとなりに  
株式会社 **フジックス**

証券コード：3600

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第71期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)における業績と今後の見通し等につきまして、下記のとおりご報告申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長 藤井 一郎

## 当社グループにおける第71期の業績

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中の貿易摩擦や日韓関係の悪化を始め、様々な国際情勢の不透明感を抱えながらも引き続き緩やかな回復基調で推移してきましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、期末に向けて急速に先行きの懸念や不透明感が高まることとなりました。

当社グループにおきましては、期末を当社は3月末、国内子会社は1月末、海外子会社は12月末と定めておりますため、当期における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響は当社のみは些少なものでしたが、アパレル・ファッション業界や手芸関連業界におきましては、昨年発生した自然災害に加え、とりわけ昨秋以降は、消費税率改定や暖冬傾向が消費マインドを低下させ、衣料品や手芸関連品の消費は低調となり、服飾材料である縫い糸の商況も一層厳しさが増しました。

当社グループでは、昨春以降の販売価格の改正により、販売単価は上昇したものの、販売数量の落ち込みや為替換算レート変動の影響もあって、当連結会計年度の売上高は6,050百万円(前期比5.5%減)にとどまりました。

一方利益面につきましては、売上高減少が減益要因となりましたが、販売価格改正による利益率の改善や人件費の減少、前期に発生した一過性の費用を含む経費の減少もあって、営業利益は42百万円(前期は42百万円の損失)、経常利益は121百万円(前期比296.2%増)となりました。

また、前期は、本社社屋建替えの意思決定に伴う減損損失および事業所改築関連費用を含め、合わせて217百万円の特別損失を計上しましたが、当期は、東京支店の減損損失を含め、合わせて94百万円の特別損失を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純損失は25百万円(前期は216百万円の損失)となりました。

# セグメント別の概況と今後の見通し

## セグメント別の概況

### 日本

当セグメントは、当社および国内連結子会社3社の業績が連結されております。

当期間におけるアパレル・ファッション業界や手芸関連分野では、前述のとおり、昨年発生した自然災害に加え、とりわけ昨秋以降は、消費税率改定や暖冬傾向が消費マインドを低下させ、衣料品や手芸関連品の消費は低調となり、服飾材料である縫い糸の商況も一層厳しさが増しました。

当セグメントにおきましては、昨春以降の販売価格の改正により、販売単価は上昇したものの、販売数量の落ち込みが響いて、売上高は4,774百万円(前期比5.0%減)となりました。

一方利益面につきましては、売上高減少が減益要因となりましたが、販売価格改正による利益率の改善や人件費の減少、前期に発生した一過性の費用を含む経費の減少もあって、セグメント損失は39百万円(前期は100百万円の損失)に改善しました。

### アジア

当セグメントは、海外連結子会社8社の業績が連結されております。

前述のとおり、当社グループの海外子会社は期末を12月末と定めておりますため、当期には新型コロナウイルス感染症拡大の影響はほとんどありませんが、当期間の日本向け衣料品のアジア地域における生産は、日本国内の慎重な消費を背景に、全般には抑制傾向が続いて、縫い糸の受注も伸び悩み、とりわけ中国におきましては米国との貿易摩擦問題や国内経済の減速により、縫製業および当社子会社の事業環境は厳しさが増しました。

当セグメントにおきましても、当期には日本同様、販売価格の改正を実施しましたが、前述の事業環境下、販売競争の激化などに加えて、為替換算レート変動の影響も加わって、売上高は1,276百万円(前期比7.4%減)となりました。

一方利益面につきましても、日本セグメント同様、売上高減少に伴う減益要因はあるものの、販売価格改正による利益率の改善や販管費の減少等により、セグメント利益は88百万円(前期比59.4%増)となりました。

## 今後の見通しと取り組み

今回の新型コロナウイルス感染症の世界的拡大という未曾有の事態は、世界経済に甚大な影響を及ぼし、わが国の景気指標や景況感も一気に下落し、今後のわが国経済への打撃や長期にわたる後遺症も不透明な状況となっております。

とりわけ当社グループが深く関わる国内のアパレル・ファッション業界におきましては、外出自粛や販売店舗の休業等による販売機会の減少と消費マインドの低下により、衣料品消費の落ち込みは顕著となり、店舗休業などの解除後も回復が不透明な状況となっております。

当社グループにおきましては、使い捨てマスクの品薄と価格高騰を背景とした手作りマスク材料の需要急増により、家庭用縫い糸の受注が一時的に増加しておりますが、衣料品に対する消費マインドの回復には相当な時間がかかると思われ、日本向け衣料品の生産につきましては、昨秋以降の減産傾向にさらに拍車がかかることが予想されることから、当面、日本、アジア両セグメントにおきまして、主力である工業用縫い糸の受注の落ち込みが懸念されます。

当社グループは、一定の内部留保を維持しておりますものの、当面予想される厳しい経営環境を踏まえ、引き続き新型コロナウイルス感染症防止に努めつつ、まずは国内外のグループ各社の事業継続と収益の維持が、最優先の課題であると認識しております。

一方、今回の事態をきっかけに、働き方を始めとするライフスタイルの変化、消費志向や購買行動の変化と多様化がさらに進むと予想されるなか、持続的社会の構築に向けて高まりつつある顧客やユーザーの要請も踏まえ、事業環境の変化に対応しつつ、中長期間に対処すべき課題にもグループ一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き長い目でご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目              | 前連結会計年度<br>(2019年3月31日現在) | 当連結会計年度<br>(2020年3月31日現在) | 増減           |
|-----------------|---------------------------|---------------------------|--------------|
| <b>資産の部</b>     |                           |                           |              |
| 流動資産            | 7,350                     | 6,697                     | △ 653        |
| 固定資産            | 3,767                     | 3,862                     | 95           |
| 有形固定資産          | 2,375                     | 2,659                     | 283          |
| 無形固定資産          | 248                       | 207                       | △ 40         |
| 投資その他の資産        | 1,143                     | 996                       | △ 147        |
| <b>資産合計</b>     | <b>11,118</b>             | <b>10,560</b>             | <b>△ 557</b> |
| <b>負債の部</b>     |                           |                           |              |
| 流動負債            | 894                       | 699                       | △ 195        |
| 固定負債            | 851                       | 823                       | △ 28         |
| <b>負債合計</b>     | <b>1,746</b>              | <b>1,522</b>              | <b>△ 223</b> |
| <b>純資産の部</b>    |                           |                           |              |
| 株主資本            | 8,212                     | 8,098                     | △ 113        |
| その他の包括利益累計額     | 457                       | 241                       | △ 215        |
| 非支配株主持分         | 702                       | 697                       | △ 5          |
| <b>純資産合計</b>    | <b>9,372</b>              | <b>9,037</b>              | <b>△ 334</b> |
| <b>負債・純資産合計</b> | <b>11,118</b>             | <b>10,560</b>             | <b>△ 557</b> |

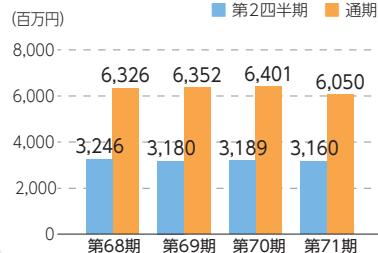
## 連結損益計算書

(単位：百万円)

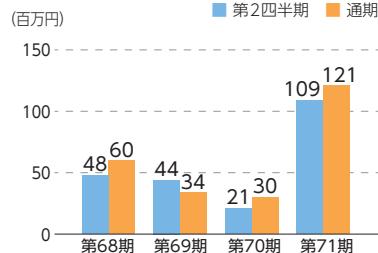
| 科目                              | 前連結会計年度<br>(自2018年4月1日<br>至2019年3月31日) | 当連結会計年度<br>(自2019年4月1日<br>至2020年3月31日) | 増減         |
|---------------------------------|--|--|------------|
| 売上高                             | 6,401                                  | 6,050                                  | △ 351      |
| 売上原価                            | 4,711                                  | 4,321                                  | △ 390      |
| <b>売上総利益</b>                    | <b>1,689</b>                           | <b>1,729</b>                           | <b>39</b>  |
| 販売費及び一般管理費                      | 1,732                                  | 1,686                                  | △ 46       |
| <b>営業利益 (△は損失)</b>              | <b>△ 42</b>                            | <b>42</b>                              | <b>85</b>  |
| 営業外収益                           | 104                                    | 102                                    | △ 2        |
| 営業外費用                           | 30                                     | 23                                     | △ 7        |
| <b>経常利益</b>                     | <b>30</b>                              | <b>121</b>                             | <b>90</b>  |
| 特別利益                            | 11                                     | 1                                      | △ 9        |
| 特別損失                            | 217                                    | 94                                     | △ 123      |
| <b>税金等調整前<br/>当期純利益 (△は損失)</b>  | <b>△ 175</b>                           | <b>28</b>                              | <b>204</b> |
| 法人税・住民税及び事業税                    | 39                                     | 39                                     | 0          |
| 法人税等調整額                         | △ 13                                   | △ 8                                    | 4          |
| <b>当期純損失 (△)</b>                | <b>△ 201</b>                           | <b>△ 2</b>                             | <b>199</b> |
| 非支配株主に帰属する<br>当期純利益             | 14                                     | 23                                     | 8          |
| <b>親会社株主に帰属する<br/>当期純損失 (△)</b> | <b>△ 216</b>                           | <b>△ 25</b>                            | <b>191</b> |

注 国内連結子会社は2019年2月～2020年1月(1月決算)、海外連結子会社は2019年1月～12月(12月決算)の業績が連結されております。

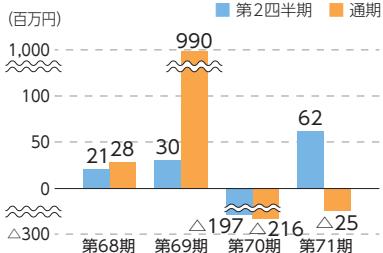
### ■ 売上高



### ■ 経常利益



### ■ 純利益



## トピックス

### 当社グループの新型コロナウイルス感染防止対策について

わが国にも甚大な影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の事態は、いまだ感染再拡大のリスクを抱えたまま、予断を許さない状況が続いております。

当社グループにおきましては、中国での感染拡大が深刻となりました本年1月以降、中国駐在者の一時退避帰国指示、グループ会社における手消毒の徹底や、マスク配布と着用の義務化、出張や業務上外出の自粛、時差出勤などを皮切りに、その後も政府や自治体の要請に極力応じるべく、在宅リモートワークの導入等による出勤率の低減、テレビ会議システムの活用推進等々、順次感染拡大防止策を強化してまいりました。

しかし一方で、手作りマスク材料の需要急増や、外出自粛に伴う「巣ごもり需要」の増加により、家庭用縫い糸の受注が一時的に増加したため、在宅勤務が困難な製造部門や物流部門におきましては、「三密」に留意するなど、極力感染防止に努めながら、お客様のご要望にお応えすべく操業維持に努めました。

現在、新型コロナウイルス感染症に対するワクチンや特效薬の開発が各国の総力を挙げて進められていますが、事態の完全な収束には相当な期間が見込まれることから、当社グループといたしましては、今後も事業活動の維持と感染拡大防止策継続の両立を目指してまいります。

### 新しい本社ビルが竣工しました。

耐震対策や職場環境の向上を目的に建て替え工事を進めてまいりました当社の新しい本社ビルは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、当初計画よりおよそ2週間遅延いたしました。8月初めより業務を開始できる見込みとなりました。

新本社ビルにおきましても執務室のレイアウトの一部変更等を行うなど、新型コロナウイルス感染防止に留意しながら、職場環境の向上を図り、さらなる業務の効率化を目指してまいります。



# フジックスグループ Network



## 事業所

|          |  |
|----------|--|
| 本        | 社 管理部・営業部<br>〒600-8424<br>京都市下京区室町通高辻上る<br>山王町569番地<br>☎075-744-0071 |
| 東京支店     | 営業部 東京都豊島区   |
| 滋賀事業所    | 生産部・物流部・研究開発室 滋賀県東近江市  |
| 東北物流センター | 物流部門 秋田県横手市  |

※現在仮社屋にて営業しておりますが、8月上旬より従来の住所で営業を開始する予定です。  
8月上旬より 京都市北区平野宮本町5番地

## 連結子会社

|    |  |
|----|--|
| 国内 | 株式会社FTC (生産会社 京都 東京 岐阜)                        |
|    | 株式会社シオン (販売会社 秋田)                              |
|    | 株式会社ニットマテリアル (販売会社 山梨)                         |
| 海外 | 上海富士克制線有限公司 (生産会社 中国・上海)                       |
|    | 上海富士克貿易有限公司 (販売会社 中国・上海)                       |
|    | 上海新富士克制線有限公司 (販売会社 中国・上海・大連・南通・北京)             |
|    | 富士克國際(香港)有限公司 (販売会社 中国・香港)                     |
|    | 上海福拓線貿易有限公司 (販売会社 中国・上海)                       |
|    | 常州英富紡織有限公司 (生産会社 中国・溧陽)                        |
|    | FUJIX VIETNAM CO.,Ltd. (販売会社 ベトナム・ホーチミン)       |
|    | FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd. (販売・生産会社 タイ・バンコク) |

## 会社の概況

### 事業内容

フジックスグループは、社是を「誠実」とし、家庭用縫い糸及び工業用縫い糸、刺しゅう糸の製造販売を主たる事業として、ファッションや手作りホビーを裏方として支えております。フジックスの製品は家庭用・工業用を合わせると1300種類ものアイテムがあり、多いものでは数百色という色があるアイテムもあります。

また、これらの原材料及び半製品の販売や手芸関連商品、縫製副資材等の販売も行っております。

|      |                                |
|------|--------------------------------|
| 創 業  | 1921年（大正10年）3月                 |
| 設 立  | 1950年（昭和25年）1月                 |
| 従業員数 | 130名（連結437名）<br>（2020年3月31日現在） |

### ● 役員（2020年6月26日現在）

|            |       |          |
|------------|-------|----------|
| 代表取締役      | 藤井 一郎 | 社長       |
| 常務取締役      | 松尾 勇治 | 管理部長     |
| 常務取締役      | 藤井 翔太 | 経営企画室長   |
| 取締役        | 川嶋 伸久 | アパレル資材部長 |
| 取締役        | 上原 康裕 | 生産部長     |
| 取締役（監査等委員） | 枚山 広幸 |          |
| 取締役（監査等委員） | 吉田 薫  | 社外取締役    |
| 取締役（監査等委員） | 山田 善紀 | 社外取締役    |

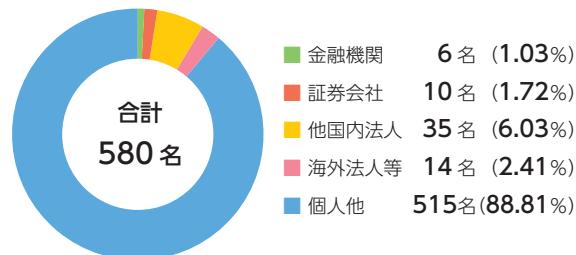
## 株式の状況（2020年3月31日現在）

|          |            |
|----------|------------|
| 発行可能株式総数 | 3,989,000株 |
| 発行済株式の総数 | 1,468,093株 |
| 株主数      | 580名       |
| 大株主      |            |

|                         | 保有株式数(株) | 持株比率(%) |
|-------------------------|----------|---------|
| 株式会社FJ興産                | 158,600  | 11.52   |
| 藤井多鶴子                   | 115,400  | 8.38    |
| 小原京子                    | 86,000   | 6.25    |
| 鈴木直子                    | 68,400   | 4.97    |
| 藤井一郎                    | 44,000   | 3.20    |
| 藤井太郎                    | 42,800   | 3.11    |
| 株式会社三井住友銀行              | 36,960   | 2.68    |
| 小林茂                     | 36,510   | 2.65    |
| INTERACTIVE BROKERS LLC | 34,200   | 2.48    |
| 株式会社京都銀行                | 33,200   | 2.41    |

当社は、自己株式91,385株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を除外して計算しております。

### 株主分布状況



### 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
基準日 (1) 定時株主総会・期末配当金 3月31日  
(2) 中間配当金の支払いを行うとき 9月30日

定時株主総会 毎年6月

単元株式数 100株

株主名簿管理人  
及び特別口座の  
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063

郵便物の送付先  
及び照会先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

(URL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 電子公告としております。

公告アドレス <https://www.fjx.co.jp> (当社ホームページ)

証券コード 3600

## ホームページとSNSのご案内

株主の皆様に向けた株主総会に関するお知らせやIR情報を掲載しているサイトのほか、手作りファンのための情報サイト「そーいんぐ.COM」や当社の製品をご購入いただけるショッピングサイト「糸屋さん」がございます。また、広く当社のことを知っていただくためにTwitterやInstagramで、キャンペーン情報や新製品情報、手作り情報を発信しています。

○ホームページURL <https://www.fjx.co.jp>

